

対話の大切さを実感

老人クラブの皆さんの声を町政へ

議会から町へ要望・提言

- 01 老人クラブ活動への継続的な支援の充実**
申請・報告の事務手続を簡素化してほしい
- 02 おがわいきいきシニアポイント事業の拡充**
ポイントの対象活動を広げたり、ポイント数を見直したりしてほしい
- 03 公共施設を利活用した高齢者交流拠点の確保**
学校跡地を含む公共施設の利活用で、地域住民が交流できる場がほしい



6月議会最終日、島田町長に要望書を手渡しました

詳しくは、こちらからご覧ください→



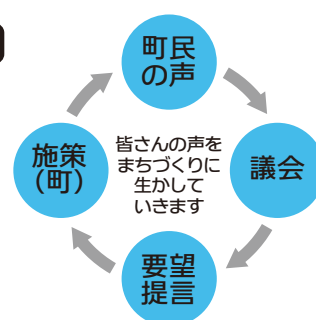
Gikai's eye

住民との対話から見てきたもの

今回の地区懇談会を通して、改めて「対話」の大切さを実感した。住民の皆さんの思いや地域の課題を直接聞くことは、議会にとって大変貴重である。今後も地区懇談会を継続する中で、対象者やテーマを広げ、政策提言として町に要望し、よりよいまちづくりにつなげていく。

継続を望む声

次回は、若者が対象。秋頃を予定



次ページは
「補正予算の質疑」ほか

移動手段がほしい。
地域の集まりに行くにも必要

4月26日
大河地区

アップダウンを生かして散歩している

そば打ち、クリスマス会等のイベントが楽しい

ハイキング+食事やゲームがセットになっているのが楽しい

移動手段がほしい。
地域の集まりに行くにも必要

事前打ち合わせでは、多くの町への要望をお聞きし、老人クラブの皆さんの意識の高さを実感しました。当日は「健康と生きがい」への個々の取組、地域の取組、今後への不安など、活発なグループ討議が進みました。地域に出ていく日常の活動がいかに大切か、そしてそこにいけないことへの不安、日々の暮らしからの課題、今後へのヒント。本当に有意義な機会となりました。(地区担当 高橋さゆり委員)

清掃活動、百歳体操、見守り隊等、社会とのかかわりを持つこと

4月28日
竹沢地区

散歩やグラウンドゴルフに積極的に参加することと減塩してフレイル予防に努めています

グラウンドゴルフの三世代交流や用具への補助を

コミュニティや交流の場としての居場所づくりを(竹沢小の跡地を利用したい)

ワークショップ形式で意見交換を行い、多くの率直なご意見を伺うことができました。今回改めて感じたのは、広聴は意見を集めることだけで終わるものではないということです。一つ一つの声を丁寧に整理することで、地域ごとの実情や課題が見えてきます。その積み重ねが、より地域に寄り添った議会活動につながると感じました。(地区担当 五十嵐委員)